



活性酸 A₂ めっき前の活性化剤

1. 用途

- 鉄、銅合金、鋳物、アルミニウム等のめっき前の活性化剤
- エッチング処理後のスマットの除去

2. 特徴

- 固形で取扱いが容易です。

3. 使用方法

	濃度	浸漬時間
鉄・銅合金	50~100g/L	10~60 秒
鋳物部品	70~150g/L	20~30 秒
亜鉛ダイカスト	10~30g/L	10~30 秒
アルミニウムとその合金	100~150g/L	30~100 秒

4. 活性酸の管理

活性酸水溶液の消耗は、反応による溶解した金属の蓄積によって進行します。

以下の分析方法で活性酸を補充して下さい。

- 活性酸水溶液 20ml をホールピペットで 300ml のコニカルビーカーに採取し、純水を約 100ml 加える。
- ブロムクレゾールグリーンとメチルレッドの混合指示薬を 2~3 滴加える。
- 0.5 規定水酸化ナトリウム溶液で中和滴定し、終点は赤色から緑色になった点を終点とする。

計算式

$$\text{活性酸 A}_2 \text{ の濃度 (g/L)} = 6.268 \times A \times F$$

A: 0.5 mol/L 水酸化ナトリウム溶液の滴定量 (mL)

F: 0.5 mol/L 水酸化ナトリウム溶液のファクター

混合指示薬: ブロムクレゾールグリーン 0.15g と メチルレッド 0.1g をエタノール 200mL に溶かして下さい。

5. 注意事項

- 一水素ニフッ化アンモニウムを含有しているため取扱いには注意してください。容器は硬質塩化ビニール、またはポリエチレン製のものを使用してください。

6. 廃水処理

本製品を廃棄する場合は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）の特別管理産業廃棄物に該当します。また、毒物及び劇物取締法、水質汚濁防止法の排出基準に抵触しますので、これらの法に準じて廃棄する必要があります。

7. 活性酸 A₂ の取り扱い上の注意

- 作業場は局所排気装置を設けるか、換気の良い場所で取り扱って下さい。
- 作業時は安全めがね、マスク、ゴム手袋、長靴、エプロン等の保護具を着用して下さい。
- 強酸性物質と接触するとフッ化水素ガスを発生し、強アルカリ性物質と接触するとアンモニアガスが発生します。強酸性と強アルカリ性物質の混合は避けて下さい。
- 眼に入った場合は、直ちに水で数分間注意深く洗い、速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに皮膚を流水又はシャワーで洗い、速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 飲み込んだ場合は、口をすすぎ、速やかに医師の手当てを受けて下さい。
- 作業後は手洗い、うがいを行って下さい。
- こぼした場合は保護具を用いて、こぼれ又は飛散したものを掃き集めて空容器に回収して下さい。

8. 荷姿

10kg 入りダンボール箱（内容器 5kg 入りポリ袋×2）

森幸鍍金材料株式会社

Moriko Electroplating Materials Inc.

本社 〒105-0003

東京都港区浜松町 2 丁目 12 番 9 号

事業本部 〒143-0003

東京都大田区京浜島 2 丁目 2 番 3 号

TEL : 03-3790-1081 / FAX : 03-3790-8556